

# デュアルフューエルトラックを初公開



デュアルフューエルトラック。三菱キャンター2トン積シャーシをベースに、容器などの設置状況がわかりやすいキャリアカーとして製作された

## だるまエナジー

だるまエナジー(東京、古田洋二社長)は1月26日、名古屋市の邦和セミナープラザで展示セミナーを開催し、LPGとディーゼルのデュアルフューエルトラック「ハイパーLPGトラック」プロトタイプを初公開した。

## 名古屋、東京で説明会



LPGガス容器の設置状況①やエンジンの架装状態などを見学

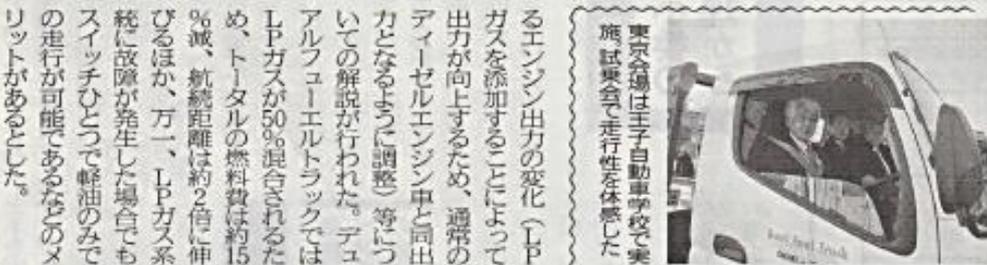


LPGとディーゼルのデュアルフューエルトラックを販売するだるまエナジー株式会社 古田社長

「LPGとディーゼルのデュアルフューエルトラックを販売するだるまエナジー株式会社 古田社長」

等「PRする事業」として普及が進められているもの。ディーゼルエンジンの燃料である軽油にLPGガスを混合して燃焼させることで燃料費の削減を図る。LPGと軽油を使用するデュアルフューエルシステム自体は、LPGの混合比率等が今回のプロトタイプとは異なるものの、船舶用などの分野で20年ほど前から世界各地で利用されている技

術だ。日本国内においても、平成2年から4年にかけて、都営バスで黒煙低減を目的に6台が試験的に導入された実績がある。セミナー開講に先立ち、古田社長は「今回デュアルフューエルトラックが、LPGガス業界全体で作ったという意識を持っていただきたい」ということ、役に立つ車として、LPGガスを燃料に使うとこんなことができるというところを、皆さんと知恵を出し合いながら進めていければと考えてのもの」と開発の狙いを説明。



東京会場は王子自動車学校で実施。展示会では走行性を体感した

そのうえで、自動車向けLPGガス需要の新規開拓に有効である点や、今回試作した2トントラックにとどまらず、それ以上の大型車におけるデュアルフューエル化を今後進めるとの方針を明かした。最後に「ガスで走る車はガス燃焼機器。今回のシステムは、LPGガスだけでなく、CNGの添加燃焼も可能。ガステキエールギー普及のために活動しているGラインと同様に、自動車の分野でもGV(Gas Vehicle)ラインをめざしたい。それとともに、燃料費高騰に悩むトラックユーザーのお役に立ちたいと考えている」と締めくくった。

セミナーでは、オートガスと他燃料の価格推移状況(オートガスは他燃料と比較して安価で安定した価格である)、デュアルフューエルの仕組みとLPGガスの混合比(LPGガスを50%混合する)、LPGガスを添加することによるエンジン出力の変化(LPGガスを添加することによって出力が向上するため、通常のディーゼルエンジン中と同出力となるように調整)等について解説が行われた。デュアルフューエルトラックではLPGガスが50%混合されたため、航続距離は約2倍に伸びるほか、万一、LPGガス系に故障が発生した場合でもスイッチひとつで軽油のみでの走行が可能であるなどのメリットがあると説明した。

2月2日には東京会場でも同様のセミナーを開催。こちらは王子自動車学校(北区畑船)を会場に試乗会も実施した。この試乗会ではコースを2周し、1週目はディーゼルのみ、2週目はLPGを混合して走行し、その違いをアピール。参加者はLPG混合によるトルク向上を体感していた。

者が少なくない様子だった。